



# TAIHEIYO CEMENT NEWS LETTER

2019年10月28日

## 埼玉工場における廃熱発電設備新設について

太平洋セメント株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：不死原正文）は、埼玉工場（埼玉県日高市）に廃熱発電設備を設置することを決定しました。

埼玉工場では、以前より石炭・バイオマス燃料混焼による火力発電で電力を賄ってきました。セメント製造工程で発生する熱を用いる廃熱発電設備を新設することで、さらなる化石エネルギーの使用量削減が可能となります。

当社は、1982年に熊谷工場（埼玉県熊谷市）へ廃熱発電設備を導入以降、順次各工場への設置を進めてきました。このたびの埼玉工場への設置をもって、全工場への設置が完了となります。本設備の稼働後は、年間約27,000トンのCO<sub>2</sub>排出が削減され、また、当社の全工場での総消費電力量に対する廃熱発電量の割合は、18.4%（2018年度比2.0ポイント増）となる見込みです。

当社は、セメント生産におけるCO<sub>2</sub>排出削減を重要な成長戦略と位置付けており、さらなる省エネルギーの推進にも取り組んでまいります。

### <廃熱発電設備の概要>

所在地	埼玉県日高市原宿721番地（埼玉工場内）
発電出力	8MW
年間発電電力量	約53,000MWh 年間約27,000トンのCO <sub>2</sub> 排出削減に貢献する
稼働予定	2022年9月

### <本件に関する問合せ先>

太平洋セメント株式会社 総務部 I R 広報グループ

TEL. 03-5531-7334 FAX. 03-5531-7551